

山口市男女共同参画センター だより

平成27年9月号

発行:山口市男女共同参画センター
編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会
〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)
TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

新センター長就任あいさつ

山口市男女共同参画センター 所長 吉村 博雄



本年4月より所長として参りました。どうぞよろしくをお願いします。

私は前職場(市役所)で長く「まちづくり」に従事してきましたので、「男女共同参画」を柱とした「まちづくり」につ

いて少し述べさせていただいて、皆様の一助としていただければと思います。

今年(平成27年)は戦後70年、男女雇用機会均等法30周年など、何かと節目の年を迎える法律等が多く、特に新聞紙上や報道等において、さまざまな意見・考察が行なわれています。この中で「男女共同参画」に関する多くの論考もありますが、おしなべて、男性・女性といった性別の特色を述べ、よくも悪くもそれによって今日の社会を構築してきた旨が述べられて

いるところです。

私が4月より着任して思うことは、現在少子高齢化の時代にあっては、性別よりも本人の個性が最大限発揮される社会の構築が、社会の安定化・均等化につながっていくと思っています。そのためにも「男女共同参画」によるまちづくりが特に必要です。

今後は本市のような地方都市における現場の力、現場の実践的な計画技術が必要で、市民の皆様の意識啓発を含め、参画・協同のまちづくりへの取組を蓄積して行き、「男女共同参画」の形成を目指していければと思っています。

当センターでは、講座やセンターイベントの開催ほか、研修派遣、情報提供、活動支援など色々な事業を行なっています。是非、皆様の積極的参加をお願いします。

山口市男女共同参画センターは・・・

【開館時間】 平日 午前9時～午後9時 (月曜日、国民の祝日、)
土日 午前9時～午後5時 (12/29～1/3を除く)

次のような事業を行なっています。

活動支援／交流事業	男女共同参画の推進活動を行う団体等の相互交流の促進や活動への支援を行ないます。
学習機会の提供事業	男女共同参画に関する講演会、研修会等を開催します。
情報収集・提供授業	男女共同参画に関する情報の収集や提供等を行ないます。
相談事業	男女共同参画に関する相談をお受けします。
調査研究事業	男女共同参画についての調査研究を行ないます。
人材育成事業	男女共同参画を推進する人材の育成を行ないます。
貸館事業	男女共同参画事業に関わらず一般利用者へ施設を貸し出します。

◆相談のご案内

山口市在住またはお勤めの方を対象に、自分自身のこと、家族のこと、人間関係、女性への暴力など、様々な悩みごとについて、婦人相談員が面接相談(電話相談も可)に応じます。また、必要に応じて専門の機関や窓口を紹介しますので、ささいなことでもお気軽にご相談ください。相談は無料です。面接相談は事前にご予約下さい。

■相談日時 毎週 火曜日・木曜日
金曜日・土曜日
平日 10:00～16:00
土曜 13:30～16:30

■相談専用ダイヤル

083-934-2743

仕事は「時間」から「質」の社会へ

ワーク・ライフ・バランスレポート最新情報と今後の課題

1. 長時間労働の現状について

週労働時間60時間以上の雇用者の割合は、2010年から3年連続で低下しています。(図表1)

2. 女性の就業継続の状況について

第1子出産前後の女性の継続就業は4割弱で推移し、長期的にほぼ横ばいで推移しています。これを職員とパート・派遣等に分けて見ると、正規の職員は就業を継続している者が5割を超えていますが、パート・派遣は就業を継続する者の割合が2割に達していません。(図表2・3)

3. 男性の家事・育児参画の現状について

男性の育児休業取得率は、約2% (2013年) と非常に低い水準で推移しています。6歳未満の子どもをもつ夫の育児・家事関連時間は、67分 (2011年) と数値目標に対して低水準で推移しています。(図表4・5)

4. 仕事と介護の両立支援の現状について

介護や看護を理由とした離職・転職者数は、1年間 (2011年11月～2012年9月) で10万人であり、女性が80.3%を占めています (図表6)

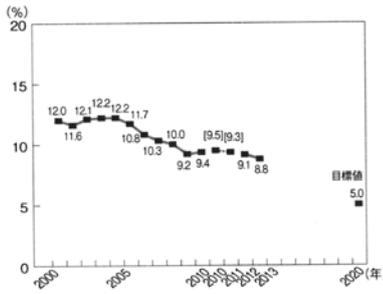
5. 今後の課題

長時間労働の抑制に向けては、労使において意識改革や職場の雰囲気づくりに取り組むことが必要です。また、経営者主導の下、短時間で質の高い仕事を評価する仕組みの構築や仕事を代替できる体制づくりなどの雇用管理の改善が重要です。

男女がともに仕事と子育てを両立できる環境に向けて、育児休業、短時間勤務やテレワークなどの多様で柔軟な働き方を可能とする環境整備が必要です。あわせて、子育ての社会基盤の整備が必要です。また以上の取組については、増加傾向にある非正規雇用の労働者についても、多様で柔軟な働き方を可能とする制度の利用促進を図ることが重要です。

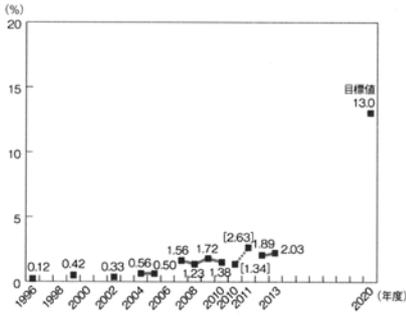
(内閣府HP ワーク・ライフ・バランスレポート2014概要版より)

図表1 週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合の推移★



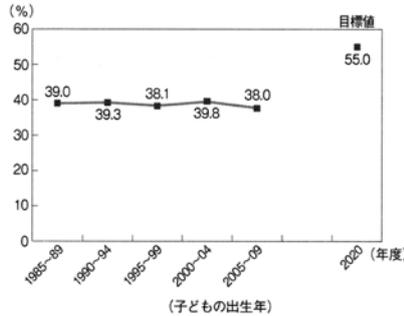
(備考) 総務省「労働力調査」より作成。

図表4 男性の育児休業取得率★



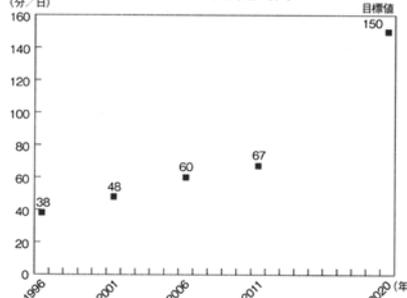
(備考) 厚生労働省「雇用均等基本調査」より作成。
ただし、2007年以前は厚生労働省「女性雇用管理基本調査」による。

図表2 第1子出産前後の女性の継続就業率★



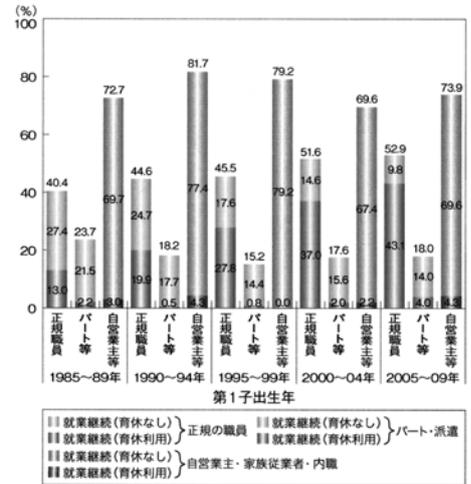
(備考) 国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査 (夫婦調査) (2011年)」より作成。
数値は、当該年間に第1子を出産した女性について、第1子妊娠発明時に就業していた者に占める第1子1歳時にも就業していた者の割合。

図表5 6歳未満の子どもをもつ夫の育児・家事関連時間★



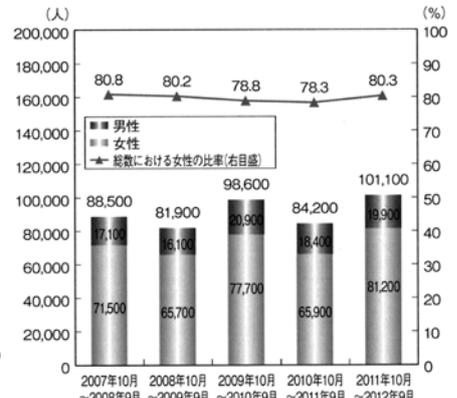
(備考) 総務省「社会生活基本調査」より作成。
数値は、夫婦と子供の世帯における6歳未満の子どもをもつ夫の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計。

図表3 出産前有職者の就業継続率 (就業形態別)



(備考) 国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査 (夫婦調査) (2011年)」より作成。

図表6 介護・看護を理由に離職・転職した者



(備考) 総務省「平成24年就業構造基本調査」より作成。

男性の料理教室

日時：平成27年6月28日（日）

講師：岡本 カズ工氏

6月28日（日）に、男性の料理教室を開催しました。

献立は、大根たっぷり棒餃子、レンコンのねばツナサラダ、ひじきと切干大根のカレー煮、ゴーヤのひとくちハンバーグ、豆腐の味噌汁とご飯です。

今回目立ったのは、参加者の半数を元気のいい男子学生が占めていたこと。自炊経験の有無や、参加した理由は色々ですが、和やかな中にも活気溢れる雰囲気の中で楽しく調理することが出来ました。手を動かしながら、日々の暮らしのこともあれこれ聞けて



いい交流になったと思います。エプロン姿もなかなか良かったです。試食では、「なあるほど…」「美味しい！」という感想も。

若者の食生活自立への足掛かりになり、中高年の参加者には、家庭における料理のスキルアップにといった役割を担える講座として、今後は、もっとPRの面で工夫していけばいいと感じました。「初めての料理教室で料理の楽しさがわかった。」「自分では思いつかないアイデアにふれられて良かった。今後の自炊に活かしたい。」「料理をしたいと思っていたが一步目のハードルが高かった。今日参加して、一步が踏み出せた。」「今後また、ぜひ参加したい。」といったアンケートの声に、スタッフとしても励まされました。



パパによるパパのための絵本のよみきかせ

日時：平成27年8月29日（土）10:30～11:45

講師：元・山口市立小郡図書館長 長谷川 雅美氏

8月29日（土）、「パパによるパパのための絵本のよみきかせ」講座をもちました。

パパと一緒に少し緊張した面持ちだったり、ママにぴったりくっついて子どもたち、去年も参加してくれた元気なご家族で、センターの和室は大賑わいでした。

最初に手遊び、そして講師の長谷川先生が絵本をひらくと、大人も子どももひきつけられて、一瞬で皆がその世界に入ってしまう。

楽しい大型しかけ絵本であてっこをしたり、思わず笑ってしまう昔話の紙芝居や、お父さんが主人公のちょっとほほえましいお話に、部屋の中は大きな歓声や笑い声でいっぱい。親子で懐かしい糸電話の工作にもチャレンジして、ワクワク楽しい時間を過ごしました。



「何才になっても絵本はいいもの。お父さんが絵本を読めば、おもしろさ3倍増しですよ！」と長谷川先生も言われるように、ママにお任せではなく、是非パパが絵本を通して子どもと心を通わせ、子育てを楽しんでほしいと願います。



第6回男女共同参画センターフェスティバル

日時：平成27年11月7日（土）10時～15時
 場所：山口市民会館、中庭、
 山口市男女共同参画センター 入場無料

大ホール

【講演会】「女性が働くということ」

■時間 13時～15時（開場12時）

■講師 キャスター／アナウンサー

吉川 美代子氏

★プロフィール

1954年 神奈川県生まれ。早稲田大学教育学部卒。

1977年TBSにアナウンサーとして入社。「ニュースコープ」「ニュースの森」「CBSドキュメント」など多数の報道番組でキャスター、司会を担当。またTBSアナウンススクール校長を12年間務め、後進の指導にあたった。

2014年5月にTBSを定年退職。現在は、テレビ、ラジオ、講演など多方面で活動。

■定員 1500人（先着順）

■参加費 無料

小ホール

【子育てワークショップ】

「親子で3B体操」

■時間：10時～11時30分

■講師：3B体操公認指導者 石津久美子氏

■対象：3～6才児とその家族 30組

全ての申し込み先・問い合わせ先

山口市男女共同参画センター 〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号（山口市民会館事務所2階）

TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

展示ホール

【団体活動紹介】

■時間 10時～15時

参画センター

【国際交流ワークショップ】シンポジウム

「国際結婚にみる子育て・夫婦・働き方」

■時間：10時～11時30分

中庭

◇しっちゃん鍋（300食・無料）11時～

◇よさこい 11時15分～

（大ホールにて12時25分～）

出演：長州青組

◇ぜんざいコーナー（無料）

◇特産物・パンの販売

申し込み先、方法

講演会、ワークショップについては要申込。

■申込方法／はがき・FAX・メールの

いずれかでセンターへお申し込みください。

講演会に関しては入場整理券を送付します。

※電話申込不可

■申込締切／10月30日（金）必着。

手話通訳あり・託児無料（6カ月～小学4年生。

要予約）・要約筆記（要申込）

真の女性活躍とは

—女性の活躍促進と働き方を考える—

女性が本当に輝くためには何が必要でしょうか。労働問題のエキスパートである竹信三恵子氏にお聞きします。

■日時：11月14日（土）13：30～15：30

■講師：和光大学教授 竹信 三恵子氏

おんなの目

おとこの目

報道によると、企業が女性の管理職登用などで数値目標を設定、達成した場合に助成金を支給する厚生労働省の2014年度の事業に、企業からの申請が1件もなく、予算約1億2千万円が全く執行されなかったという

ことだそうだ。

実行してみてもうまく行かないということはあろうかと思うが、1件もないというのは、大変残念なことである。

企業は企業の利益を確保するために存在しているわけであって、助成金をもらうために存在しているわけではない。女性の管理職を増やして行くには、やはり、管理職としてそれ相応の

資質を持った人材を個々の企業が育成していくというのが本来の考え方だろう。

とはいえ、女性管理職を増やすためにしなければいけないことはたくさんある。出産によって社内で不利益を受けないようにしたり、育児の面でも十分なサポートが企業でもそうだし行政でもバックアップできるような体制が必要ではないか。